

魚たちの危機 ～マイクロプラスチックが魚の未来を奪う！？～

マイクロプラスチックとは？



波などに砕かれたり紫外線によって分解されて細かくなったりした5ミリ以下のプラスチック。魚たちが誤って食べてしまっていることが問題になっている。

海の生物が餌と間違えてマイクロプラスチックを食べてしまうと、炎症反応、摂食障害につながってしまう。

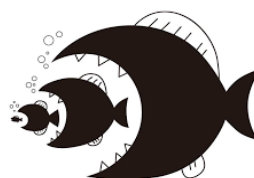
現状

海洋に存在するマイクロプラスチックは日本含む東アジア海域に多い。その海洋ゴミや化学物質、油などが原因で大量の海洋生物が死んでいる。また、

ゴミを食べた小魚⇒大きい魚が食べる⇒それをまた大きい魚が食べる

というように生態系のバランスが崩れている。まさに「負の連鎖」が起こっているのだ。

できる取り組み



プラスチックを減らすには、ごみを減らしていかないといけない。ごみを減らす取り組みとして3Rが挙げられる。3Rとは、

リデュース（発生抑制） リユース（再使用） リサイクル（再生利用）

- Reduce 買い物はマイバッグを持参して、レジ袋を減らす
- Reuse フリーマーケットやリサイクルショップを利用する
- Recycle 資源の分別をする、リサイクル商品を買う

などである。

魚だけでなく海の未来を守るためにも
ごみを減らしていこう！